

第43回福島県特別支援学校 PTA 連合会 研究大会

「第43回福島県特別支援学校 PTA 連合会 研究大会」が、11月10日（木）に開催されました。この会は、障がいのある子どもたちの成長と自立・社会参加の実現に向けて、各校のPTAの実践報告を踏まえながら意見交換し、本県の特別支援学校 PTA の一層の充実を図ることを目的としています。今年度は、新型コロナウイルス感染症防止の対策をしつつ、本校をメイン会場として県内の特別支援学校をつなぐ、リモート開催となりました。画面を通してですが、前半は各校の PTA 活動紹介を、後半は、講師としてお招きした植草学園大学副学長である野澤和弘様の講演『卒業後の社会参加・自立を目指して～子供たちと家族の未来に向けて～』を参加者全員で視聴しました。

今回の大会も、PTA 会員にとって実りある場になったと思います。今後とも御協力をお願いいたします。

開会式

福島県特別支援学校 PTA 連合会 会長 上野台さんのあいさつ



手話通訳が入りました。



教育長代理の関忠昭様（左）と福島県特別支援学校長会 会長 杉山裕恵様より、御祝辞を頂きました。

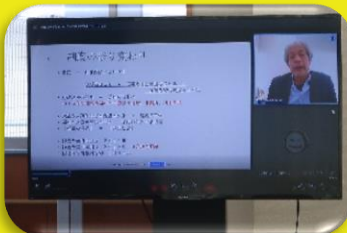
各校 PTA 紹介



スライドを通して、全 23 校の PTA 活動を分かりやすく紹介しました。各校ユーモア溢れる工夫がされており、会員の方々も興味深く視聴していました。

講演

『卒業後の社会参加・自立を目指して
～子供たちと家族の未来に向けて～』



植草学園大学副学長である野澤和弘様を講師としてお招きしました。卒業後の障害福祉制度や意思決定支援、重度の人にとっての自立、そして街での支援等について、御自身の経験を交えながらお話を頂きました。会員の方々も、熱心に聞く姿が見られました。